

e&e REPORT

No.101

発行日 2010年 2月 27日
 発行元 E&Eプランニング
 責任者 宮本康弘
 川崎市中原区市ノ坪223-4-515
 電話/FAX 044-434-7291
 メール miyamoto@d03.itscom.net

E&Eレポートは、企業・国・海外の省エネや環境情報を、少しでも皆様にお届けしたいという思いから、毎月発行しているニュースレターです。
 地球温暖化防止にお役立て頂ければ幸いです。

ToPic 企業動向

●新晃工業が70度低温排熱利用除湿空調機を開発。

デシカントに高分子の吸着剤を採用し、毛細管現象のような細かい管の間で水分の吸着と放出を繰り返す。70℃の温度でも水分を放出する。このため、140℃の高温が不要で工場で捨てていた廃熱が使える。従来の手法に比べて消費エネルギーは約30%削減が可能。ヒートポンプと組み合わせるとCO2の排出量は50%削減可能。
 「日経産業新聞」

☑ 宮本一言メモ ヒートポンプとの相性が良いので、省エネ効果大きい。

●木村工機が空気冷媒放射式空調システムを開発。

室外機から送り込んだ暖気や冷気を、天井に設置したアルミ製パネルに吹きかけると、パネル内部のアルミ板が一時蓄えた後、室内に放つ。対流式に比べ、室内の場所による温度差が出にくい。パネル内には、多数の薄いアルミ板を地面と垂直方向に一定の間隔で並べ、表面積を大きくし、蓄熱効果を高めている。最小パネルで、放射する熱量は1.1～1.2kW。水冷媒の従来パネルの0.2～0.3kWに比べ電力消費量は大幅に少ない。水冷媒方式では結露が生じるが、空気方式では室内の空気を循環させる構造。50m²の部屋でパネル価格は約50万円と安価。
 「日経産業新聞」

☑ 宮本一言メモ 空気式の放射式空調は、水漏れの心配がない分安心。

●オムロンが接続機器ごとにCO2排出を「見える化」するコンセントを開発。

8個の出力コンセントがあり、専用センサーなどで出力コンセント別に接続機器の消費電力量を計測してCO2に換算する。測定結果は、データ取得用ソフトを使って積算値を管理し、グラフで確認。パソコンからの遠隔制御は、インターネットを通じて接続機器の状態を監視するとともに、ウェブブラウザを使い、状況に応じて個別に機器の電源のオン・オフが可能。1年分の運転スケジュールを分単位で設定可能。価格は23万6250円
 「ECO JAPAN」

☑ 宮本一言メモ OAコンセント的に利用できる安価な物が欲しい。

●リンナイがエコジョーズとエコキュートを組み合わせたハイブリッド給湯器を発売。

ガスと空気の熱エネルギーを最適に使用することで省エネ性を高め、一次エネルギー効率で124%を達成。年間CO2排出量は、エコジョーズより約20%、エコキュート460Lタイプより約30%削減できる。コンパクトな熱源機・タンク一体タイプ(756,000円)と、施工性にすぐれた熱源機・タンクセパレートタイプ(735,000円)の2機種。年間のランニングコストは、エコジョーズの約半分で、導入コストを約7年で償却できる。
 「建築設備フォーラム」

☑ 宮本一言メモ 高効率機器の組み合わせによる全体の効率のアップはうまい方法。

●東京ガスと日立アプライアンスが未利用エネルギーとコージェネ廃熱を活用する空調機を開発。

下水処理水や河川水、地下水などこれまで使われていなかった低温未利用エネルギーを夏は冷却水として冷房に、冬は熱源水として暖房に活用し、従来システムと比べ年間で29%の省エネ・CO2削減を実現する。暖房時は蒸気の消費量を55%削減する。

さらに、低温未利用エネルギーとコージェネ廃熱を合わせて活用することで、ボイラーの蒸気消費量を61%削減し、年間で42%の省エネ・CO2削減が可能になる。コージェネ廃熱の代わりに太陽熱を利用することもできる。
 「ECO JAPAN」

☑ 宮本一言メモ 未利用エネルギー、廃熱利用がCO2削減には重要。

ToPic 国・地方自治体動向

●東工大が山梨に太陽熱発電施設を計画。30年ぶり国内事業。

太陽熱発電は鏡の反射を利用して太陽光を集光装置に集める「ビームダウン型」と呼ばれ、従来は上空にあった集光装置を地上に置くことで、維持・運用が楽になる。集光装置にある蓄熱材を500～1000℃に温め、その熱で蒸気を発生させてタービンを回し発電する。蓄熱材の熱が逃げないように断熱することで夜間も発電できる。

北杜市は年平均日照時間が2200時間以上あり、太陽光を安定確保できる。発電規模は300キロワット程度を見込んでいる。建設費は15億円程度の見通し。
 「日経産業新聞」

☑ 宮本一言メモ これで遅ればせながら、日本もやっと本格的な太陽熱発電の幕開け。

●福島県が新年度にCO2「排出権」販売を検討。

検討する排出権販売の仕組みは環境省が平成20年に創設した「オフセット・クレジット(J-VER)制度」を活用する方針。県内のペレットストーブの使用実績を基に二酸化炭素排出削減量をまとめ、国の認証機関が発行する「クレジット」を企業に購入してもらう構想。

販売収益は森林整備などの資金とする考え。
 「福島放送」

☑ 宮本一言メモ 今後、地方自治体でも環境付加価値の活用が始まるだろう。

●環境省が中小企業の環境投資に補助。

燃料転換や森林管理などの温室効果ガス排出削減・吸収事業に取り組む中小企業向けの設備投資補助を実施する。カーボンオフセット(炭素の相殺)用の排出削減・吸収量(クレジット)を国内でつくり出すオフセット・クレジット(J-VER)制度を促進するのが狙い。同制度を活用する企業の設備投資を上限5000万円、補助率3分の1の条件で支援する。60件の補助を予定。2009年度第2次補正予算に事業費10億円を盛り込んだ。これとは別にJ-VER制度の申請手続きや、第三者機関による排出削減・吸収実績の検証費用を補助するための事業費10億円を計上、110件の支援を想定。 「日刊工業新聞」

☞ 宮本一言メモ **大企業より中小企業の環境投資支援が今後重要。**

●経産省が中小企業向け省エネ設備リースの新保険制度を創設へ。

太陽光発電パネルや省エネ型工業炉、高効率ボイラーなどを企業へ貸し出すリース会社に対し、政府が指定した公的機関が保険契約を結ぶ。企業が倒産などでリース料金を支払えなくなった場合、残金の少なくとも半分以上を保険が肩代わりする。中小企業に省エネ化を促すのが狙い。2010年度予算案に80億円を計上。 「SankeiBiz」

☞ 宮本一言メモ **体力の弱い中小企業が高効率設備へ更新しやすくなる。**

●環境省が行程表素案を公表。温暖化ガス、家庭で最大半減に。

2020年までに温室効果ガス排出量を1990年比で25%削減するため、住宅の断熱化やエコカー普及など生活に身近な分野で地球温暖化対策を強化。家庭からの排出量を現状(05年)比で、最大半減させることなどを計画している。政府は3月末までに行程表をまとめる。20年時点での部門ごとの排出量について、家庭では90年比で最大31%減(05年比49%減)、オフィスなどで同21%減(同45%減)、運輸で同25%減(同37%減)、工場などの産業で同24%減(同20%減)とする。05年比で見ると、近年排出量が増えている家庭の削減率が最も大きい。 「時事通信」

☞ 宮本一言メモ **家庭の省エネが目標達成のカギであることは確か。**

ToPic 海外動向

●英国、学校から排出される二酸化炭素排出量をゼロに。

2016年までに、新しく設立される学校から排出される二酸化炭素を完全にゼロにする。使用エネルギーや排出二酸化炭素についてモニタリングを行い、その情報を公開する。学校から排出される二酸化炭素量は、英国全体のおよそ15%を占めており、ここで大幅なカットが実現できれば、国全体の温室効果ガス排出量の削減にとって大きな貢献になる。

政策の中核となるのは、エネルギーの使用量をリアルタイムに測定できるスマートメーターの設置プログラムで、使用されるエネルギーを教師や生徒が意識し、全体のエネルギー使用量の削減につなげる計画。 「Ecool」

☞ 宮本一言メモ **環境教育の観点からも学校の省エネ・CO2削減は意義が大きい。**

ToPic 展示会情報

● PV EXPO 2010 第3回 国際太陽電池展 <http://www.pvexpo.jp/#http://www.pvexpo.jp#>

— アジア最大！太陽電池/太陽光発電システムの技術、部品・材料、装置が一堂に集結！

併設 **FG EXPO 2010 第6回 国際水素・燃料電池展、第1回 国際二次電池展 ～バッテリー・ジャパン～**

開催日 : 2010年3月3日(水)～5日(金)

場所 : 東京ビッグサイト

料金 : ¥5,000 事前登録者無料

主催者 : リード エグジビション ジャパン(株)

連絡先 : PV EXPO 事務局 Tel :03-3349-8576 Fax :03-3349-8535

● LED Next Stage 2010～さらに広がるLEDの可能性(第3回) <http://www.shopbiz.jp/ld/>

— 次世代省エネ照明として注目を集めるLED照明器具や部材など最新製品を一堂に紹介。

併設 **JAPAN SHOP 2010 (第39回 店舗総合見本市)、建築・建材展2010 (第16回)**

開催日 : 2010年3月9日(火)～12日(金)

場所 : 東京ビッグサイト

料金 : ¥1,500 事前登録者無料

主催者 : (株)日本経済新聞社

連絡先 : NTTハローダイヤル Tel :03-5777-8600 Fax :03-6256-7844

後記 針がないけど時間はわかる、軽口を叩く「相棒」時計「クロックマン」 タカラトミー

本体天面のボタンを2回押すと、現在時刻を知らせてくれる。本体正面に目と口がついており、まばたきしたり口を動かす。

ボタンを押さなくても「相棒」と呼びかけてくれて、1時間ごとに時刻を知らせてくれたり、無駄口を叩いたりする。短時間に何度も時間を聞くと機嫌が悪くなって、言葉遣いがぶっきらぼうになったり、表情も暗くなったりする。逆に機嫌がいいと、笑顔で話しかけたりする。血液型を話したり、勝手にしゃべることもある。

静かにしてほしいときは本体を横に倒すと、寝てしまう。 価格:4494円

☞ 宮本一言メモ **チョットした遊び相手ですね。一台飼いますか？**

